

第62回「郷土のお祭の絵」展表彰式



表彰式



展示会場風景

平成26年12月20日、熱田神宮文化殿にて第62回「郷土のお祭りの絵展」表彰式（愛知県神社庁・中日新聞社主催）が開催された。同展は郷土の歴史・文化を伝承する祭りや地域荷根ざした伝統行事を題材としており、県内各地の幼稚園・保育園児、小学生、中学生の作品が出展された。

応募総数は、昨年より微増の絵画の部、絵馬の部あわせて2,859点を数えた。当日は生憎の雨模様の中、入賞した子どもたちを含めて200人の参加があった。式の冒頭、三浦正典教化常任委員長より表彰式に参加いただいた方々へお礼とともに次年度も是非応募いただきたいとの挨拶があった。

ついで審査員を代表して長谷健治先生から審査の観点と入賞者作品の解説があった後、「それぞれの作品から、描いた子どもの「お祭」への気持ちや心の響きが伝わってくる」とし、「子どもが表現するものは第62回という展覧会の年数が表しているように、脈々と私たちに流れ受け継がれて、今後も大切にしていかなければならない伝統であり、文化である」との言葉があった。表彰式で神社本庁統理賞を受賞した仙田湊大さん（江南幼稚園年長）他、428名の受賞者に、表彰状と記念品が授与された。